

2026(令和8)年度



日本大学法科大学院 (法務研究科法務専攻)

入学試験要項

Contents

1	入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
2	入学試験の内容及び評価基準	2
3	令和8年度入学試験概要	3
4	募集人員	3
5	入学試験日程・試験科目・時間	4
6	配点	5
7-1	出願資格	6
7-2	外国人留学生の出願について	6
8	障がいや疾病等がある方の受験について	7
9	出願要件〔法学既修者（特別選抜）のみ〕	7
10	併願受験	7
11	出願書類	8
12	出願方法	9
13	入学検定料	9
14	出願から受験票受け取りまでの流れ	10
15	Web出願システム入力上及び出願書類提出上の注意	11
16	Web出願システムの入力方法	14
17	個人情報の取扱いについて	19
18	受験票	19
19	試験当日の注意	19
20	合格発表	20
21	入学手続	20
22	法学既修者の既修得単位認定について	21
23	Web出願システムに関するQ&A	22
	コンビニエンスストアからの入学検定料納入方法	23

1 入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）

① 日本大学の目的及び使命

日本大学は 日本精神にもとづき
道統をたつとび 憲章にしたがい
自主創造の気風をやしない
文化の進展をはかり
世界の平和と人類の福祉とに
寄与することを目的とする

日本大学は 広く知識を世界にもとめて
深遠な学術を研究し
心身ともに健全な文化人を
育成することを使命とする

② 日本大学教育憲章

日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。

日本大学マインド

■日本の特質を理解し伝える力

日本文化に基づく日本人の気質、感性及び価値観を身につけ、その特質を自ら発信することができる。

■多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力

異文化及び異分野の多様な価値を受容し、地域社会、日本及び世界の中での自己の立ち位置や役割を認識し、説明することができる。

■社会に貢献する姿勢

社会に貢献する姿勢を持ち続けることができる。

「自主創造」の3つの構成要素及びその能力

<自ら学ぶ>

■豊かな知識・教養に基づく高い倫理観

豊かな知識・教養を基に倫理観を高めることができる。

■世界の現状を理解し、説明する力

世界情勢を理解し、国際社会が直面している問題を説明することができる。

<自ら考える>

■論理的・批判的思考力

得られる情報を基に論理的な思考、批判的な思考をすることができる。

■問題発見・解決力

事象を注意深く観察して問題を発見し、解決策を提案することができる。

<自ら道をひらく>

■挑戦力

あきらめない気持ちで新しいことに果敢に挑戦することができる。

■コミュニケーション力

他者の意見を聴いて理解し、自分の考えを伝えることができる。

■リーダーシップ・協働力

集団のなかで連携しながら、協働者の力を引き出し、その活躍を支援することができる。

■省察力

謙虚に自己を見つめ、振り返りを通じて自己を高めることができる。

③ 日本大学大学院法務研究科の教育研究上の目的

本研究科の目的は、法学の理論・知識をふまえた法律実務処理の基礎的能力のみならず、人間に対する深い洞察力、健全な社会常識を備えた法曹の育成にある。倫理観、正義感の涵養を通じて、市民から信頼され、また企業活動のコンプライアンス等に通じた法律実務家を養成するとともに、総合大学の総合力、多様性を活かし、医療・環境・知的財産等の専門分野への道を開くことを目指す。

■法務専攻（専門職学位課程）

理論と実務が密接に連携した双方向教育を展開し、法律基本科目の十分な理解、法律実務科目の習得の上に、多様な法的問題に柔軟に対応でき、法化社会の実現に資する専門性の高い法曹を養成する。

④ 日本大学大学院法務研究科の入学者の受入方針（アドミSSION・ポリシー）

日本法律学校を前身とする日本大学の歴史は、人間尊重の理念に貫かれ、いつの時代においても、社会の中で苦しみ、困っている人に手を差し伸べる弱者保護の姿勢を堅持してきました。それは「豊かな人間性や感受性、幅広い教養と専門的知識、柔軟な思考力」を法曹の資質として求める司法制度改革の趣旨並びに法科大学院の理念に合致するものであります。

選抜にあたっては、①個と集団への観察力と洞察力を備えているか、②法律学以外の素養にも支えられ、広い視野で思考する力があるか、③相手を論理的に説得する能力を持っているか、等の観点が重視されます。専門的知識への相当の精通、あるいは知識を吸収していく上での理解力のもとより、他者の立場に立って物事を判断する柔軟性、とりわけ、将来の法曹を担うにふさわしい人間性と高潔な使命感が吟味されます。

2 入学試験の内容及び評価基準

入学者選抜にあたっては、本研究科のアドミSSION・ポリシーに基づき、多様な角度から総合的に評価します。

選抜方法

① 法学既修者（一般選抜）

憲法・民法・刑法の論文式試験、面接及び書面審査で評価を行います。

② 法学既修者（特別選抜－5年一貫型）

学部成績、面接及び書面審査で評価を行います。

③ 法学既修者（特別選抜－開放型）

憲法・民法・刑法の論文式試験、学部成績、面接及び書面審査で評価を行います。

④ 法学未修者

小論文試験、面接及び書面審査で評価を行います。

■ 法学既修者論文式試験（一般選抜、特別選抜－開放型）

憲法・民法・刑法の科目について、事例を用いた問題などに対する解答を文章で論述する論文式試験を行います。法学既修者として要求される基礎的な知識、理解及び法的思考力を十分に備えているかを評価します。

■ 法学未修者小論文試験

課題文を読み、理解し、分析する能力、法律学以外の素養により広い視野で思考する能力、考えたところを的確に表現することができる文章能力、相手を論理的に説得する能力などを総合的に評価します。

■ 面接

面接担当者との質疑応答から、他者とのコミュニケーション能力、広い視野に立った柔軟な思考力、相手を論理的に説得する能力の素質があるかなどを評価します。特に社会人経験者については、その経験が法曹を目指す意欲、法曹になってからの活躍へどのようにつながっているのかも評価します。

■ 書面審査

志望理由書を中心に学部成績、その他の任意提出書類等を加味して、本研究科が育成を目指す将来の法曹を担うにふさわしい人間性と高潔な使命感があるか、本学の教育理念である「自主創造」を構成する3つの要素、「自ら学び、自ら考え、自ら道をひらく」能力を身につけられる素質があるかなどを評価します。

■ 学部成績【法学既修者（特別選抜－5年一貫型）、（特別選抜－開放型）】

出願時の当該年次前学期までの成績（GPA）で評価を行います。

3 令和 8 年度入学試験概要

入試日程	第1期		第2期				第3期				
入試区分	法学既修者 一般選抜	法学未修者	法学既修者		法学 未修者	法学 未修者	法学既修者		法学 未修者		
			一般 選抜	特別選抜			一般 選抜	特別選抜			
				5年 一貫型				開放型		5年 一貫型	開放型
募集人員	15名	5名	10名	10名	5名	5名	5名	若干名	若干名	5名	
出願期間	令和7年 8月14日(木) ～8月20日(水)〔必着〕		令和7年 10月7日(火) ～10月14日(火)〔必着〕				令和7年 11月11日(火) ～11月18日(火)〔必着〕				
試験日	8月31日(日)		10月26日(日)				11月30日(日)				
合格発表	9月12日(金) (15:00)		11月7日(金) (15:00)				12月12日(金) (15:00)				
入学手続期間	9月13日(土) ～9月26日(金)		11月8日(土) ～11月21日(金)				令和7年12月13日(土) ～令和8年1月8日(木)				

※ 自然災害や火災・停電・公共交通機関遅延等の不測の事態により、所定の日程どおりに試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期等の対応措置をとることがあります。ただし、この対応措置に伴う受験生の個人的損害について、本学は責任を負いません。不測の事態への対応や追加の連絡の必要が生じた場合には、本研究科ウェブサイトで周知しますので必ず確認してください。

不測の事態が発生しても、試験時間繰り下げ等の措置を講ずることができない場合があります。遠距離移動がある場合や悪天候等が予想される場合には、あらかじめ試験場付近に宿泊場所を確保する等の対策を講じてください。なお、これらのことによって生じた受験生の費用負担、その他個人的不利益について、本学は一切その責任を負いません。

※ 出願開始後に変更が生じた場合は、当該志願者に対してメールにて変更案内を通知いたします。

※ 本学法学部在学学生(通信教育部法学部を含む)に限り入学検定料を免除します。

4 募集人員

60 名

法学既修者（2 年制）……………45 名

① 一般選抜…………… 30 名

② 特別選抜－5 年一貫型 10 名

③ 特別選抜－開放型…… 5 名

法学未修者（3 年制）……………15 名

5 入学試験日程・試験科目・時間

① 法学既修者（一般選抜）

試 験 日		第1期:令和7年8月31日(日)	第2期:令和7年10月26日(日)	第3期:令和7年11月30日(日)
集 合 時 間		11:10		
論文式試験	憲 法 [60 分]	11:30 ~ 12:30		
	民 法 [60 分]	13:30 ~ 14:30		
	刑 法 [60 分]	15:00 ~ 16:00		
面 接 [20 分]		論文式試験終了後に実施します。 面接の開始時間は受験番号によって異なりますので、試験当日通知します。時間の 変更は認めません。 指定した時間に遅刻・欠席した場合は、面接を放棄したものとみなします。		

② 法学既修者（特別選抜－5年一貫型）

試 験 日		第2期:令和7年10月26日(日)	第3期:令和7年11月30日(日)
集 合 時 間		11:10*	
面 接 [20 分]		集合時間の変更は認めません。 指定した時間に遅刻・欠席した場合は、面接を放棄したものとみなします。 ※ 法学既修者（一般選抜）を併願する場合は、論文式試験終了後に実施します。 ※ 法学未修者を併願する場合は、小論文試験終了後に実施します。	

③ 法学既修者（特別選抜－開放型）

試 験 日		第2期:令和7年10月26日(日)	第3期:令和7年11月30日(日)
集 合 時 間		11:10	
論文式試験	憲 法 [60 分]	11:30 ~ 12:30	
	民 法 [60 分]	13:30 ~ 14:30	
	刑 法 [60 分]	15:00 ~ 16:00	
面 接 [20 分]		論文式試験終了後に実施します。 面接の開始時間は受験番号によって異なりますので、試験当日通知します。時間の 変更は認めません。 指定した時間に遅刻・欠席した場合は、面接を放棄したものとみなします。	

④ 法学未修者

試 験 日		第1期:令和7年8月31日(日)	第2期:令和7年10月26日(日)	第3期:令和7年11月30日(日)
集 合 時 間		9:10		
小論文試験 [90 分]		9:30 ~ 11:00		
面 接 [20 分]		小論文試験終了後に実施します。 面接の開始時間は受験番号によって異なりますので、試験当日通知します。時間の 変更は認めません。 指定した時間に遅刻・欠席した場合は、面接を放棄したものとみなします。 ※ 法学既修者（一般選抜／特別選抜（開放型））を併願する場合は、法学既修者 の論文式試験終了後に実施します。		

6 配点

① 法学既修者（一般選抜）

選 抜 方 法		配 点	備 考
論文式試験	憲 法	100 点	論文式試験の全科目について、それぞれ最低基準点（50 点）を設けます。1 科目でもその最低基準点を下回る場合（未受験を含む）は、他の選抜方法の成績にかかわらず不合格とします。
	民 法	100 点	
	刑 法	100 点	
面 接		150 点	最低基準点（100 点）を設けます。 最低基準点を下回る場合（未受験を含む）は、他の選抜方法の成績にかかわらず不合格とします。 面接の参考資料として出願書類を使用します。
書 面 審 査		50 点	
合 計		500 点	

② 法学既修者（特別選抜－5年一貫型）

選 抜 方 法		配 点	備 考
学 部 成 績		300 点	学部成績は、出願時の当該年次前学期までの成績（GPA）で評価を行います。
面 接		150 点	最低基準点（100 点）を設けます。 最低基準点を下回る場合（未受験を含む）は、他の選抜方法の成績にかかわらず不合格とします。 面接の参考資料として出願書類を使用します。
書 面 審 査		50 点	
合 計		500 点	

③ 法学既修者（特別選抜－開放型）

選 抜 方 法		配 点	備 考
論文式試験	憲 法	100 点	論文式試験の全科目について、それぞれ最低基準点（50 点）を設けます。1 科目でもその最低基準点を下回る場合（未受験を含む）は、他の選抜方法の成績にかかわらず不合格とします。
	民 法	100 点	
	刑 法	100 点	
学 部 成 績		100 点	学部成績は、出願時の当該年次前学期までの成績（GPA）で評価を行います。
面 接		70 点	最低基準点（30 点）を設けます。 最低基準点を下回る場合（未受験を含む）は、他の選抜方法の成績にかかわらず不合格とします。 面接の参考資料として出願書類を使用します。
書 面 審 査		30 点	
合 計		500 点	

④ 法学未修者

選 抜 方 法		配 点	備 考
小論文試験		300 点	最低基準点（150 点）を設けます。 最低基準点を下回る場合（未受験を含む）は、他の選抜方法の成績にかかわらず不合格とします。
面 接		150 点	最低基準点（100 点）を設けます。 最低基準点を下回る場合（未受験を含む）は、他の選抜方法の成績にかかわらず不合格とします。 面接の参考資料として出願書類を使用します。
書 面 審 査		50 点	
合 計		500 点	

7-1 出願資格

次のいずれかに該当する者。ただし、特別選抜に出願する者は、「9出願要件〔法学既修者（特別選抜）のみ〕」に該当する者。

- ① 大学を卒業した者又は令和8年3月末までに卒業見込みの者（早期卒業を含む）。
 - ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者又は令和8年3月末までに学士の学位を授与される見込みの者。
 - ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者又は令和8年3月末までに修了見込みの者。
 - ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は令和8年3月末までに修了見込みの者。
 - ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和8年3月末までに修了見込みの者。
 - ⑥ 外国の大学等において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者又は令和8年3月末までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者。
 - ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者又は令和8年3月末までに修了見込みの者。
 - ⑧ 文部科学大臣の指定した者。
 - ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの。
 - ⑩ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和8年4月1日までに22歳に達するもの。
 - ⑪ 大学に3年以上在学し、所定の単位を優秀な成績で修得した者と本大学院において認めたもの。（いわゆる飛び入学）
- ※ 上記⑪の令和8年4月入学志願者は、次の条件を全て満たす場合に限り、法学既修者（一般選抜）及び法学未修者のいずれにも出願を認めます。

- (1) 出願時に大学の学部3年次に在学していること。
- (2) 令和8年3月末において、大学在学期間が3年間に達すること。
- (3) 令和8年3月末において、大学に入学以来90単位以上修得見込みであること。
- (4) 令和8年3月末までに修得した全ての単位の60%以上の学業成績が100点満点中80点以上相当の評価を得ていること。

なお、停学、休学及び留学の期間は、在学期間に含めないものとします。

また、入学試験合格後に、上記(2)、(3)及び(4)に定める単位数及び学業成績の要件を満たさないことが確定した場合には入学を取り消します。

<出願資格審査について>

出願資格⑨～⑪により、令和8年度入学試験への出願を希望する場合は、出願前に個別に出願資格審査を行いますので、以下の問合せ期間内に、大学院事務課にメール(houka@nihon-u.ac.jp)にてお問い合わせください。メールの件名は「日本大学大学院法務研究科入学試験 第〇期 出願資格審査希望」としてください。**出願期ごとに、お問合せ、申請及び大学の許可が必要です。**指定の問合せ期間中に問合せがなかった者は、いかなる場合も出願資格審査を実施しません。

	試験日	問合せ期間	出願資格審査 申請書提出期限	審査結果の発表
第1期	令和7年 8月31日(日)	6月30日(月)～7月 4日(金)	7月22日(火)〔必着〕	8月 5日(火)
第2期	令和7年10月26日(日)	8月25日(月)～8月29日(金)	9月16日(火)〔必着〕	10月 2日(木)
第3期	令和7年11月30日(日)	9月30日(火)～10月 6日(月)	10月21日(火)〔必着〕	11月 5日(水)

7-2 外国人留学生の出願について

外国籍の場合は、出願前に「事前連絡確認書」の交付を必要とします。上記、出願資格審査問合せ期間と同期間中に、大学院事務課にメール(houka@nihon-u.ac.jp)で問合せを行い、大学が指定した方法に基づき申請を行ってください。メールの件名は「日本大学大学院法務研究科入学試験 第〇期 事前連絡確認書交付希望」としてください。「事前連絡確認書」の交付を受けていない者は、いかなる場合も出願を認めません。

8 障がいや疾病等がある方の受験について

身体機能の障がいや疾病等により、受験上の配慮を必要とする場合は、6頁の出願資格審査問合せ期間内に、大学院事務課にお問い合わせください。期間後の申請については、受験上の配慮を行えない場合がありますので、予めご了承ください。

9 出願要件【法学既修者（特別選抜）のみ】

① 特別選抜－5年一貫型

出願時において、以下のすべての条件を満たす者

- (1) 本研究科と法曹養成連携協定を締結した大学の法曹基礎課程（法曹コース）に在籍する3年次以上の者
- (2) 令和8年3月末までに大学を卒業見込みであり、かつ法曹基礎課程（法曹コース）を修了する見込みの者

② 特別選抜－開放型

出願時において、以下のすべての条件を満たす者

- (1) 大学の法曹基礎課程（法曹コース）に在籍する3年次以上の者
- (2) 令和8年3月末までに大学を卒業見込みであり、かつ法曹基礎課程（法曹コース）を修了する見込みの者

「法曹基礎課程」とは、法科大学院の教育と司法試験との連携等に関する法律第6条に基づき、いずれかの法科大学院との間で法曹養成連携協定を締結した大学に設置された連携法曹基礎課程をいいます。

※ 入学試験合格後に、「9①(2)」又は「9②(2)」に記載の法曹基礎課程（法曹コース）を修了できないことが確定した場合には入学が許可されません。この場合、入学検定料はいかなる理由があっても返還しません。

また、本研究科への入学手続を完了（入学納入金を全額納入）した後に、入学時までに本研究科入学資格を得られなかった場合も、入学許可は取り消しとなります。その際、入学時納入金から入学金を除いた金額（諸会費を含む）を返還します。

10 併願受験

入学試験の同一日程における以下の併願を可能とします。ただし、既修者（特別選抜）どうしの併願は認めません。Web 出願システムのトップページから、該当する併願を選択し、出願書類は8頁の「11 出願書類」に従い、1セットのみ提出してください。

併願の入学検定料は45,000円です（本学法学部在学生（通信教育部法学部を含む）は免除）。

〔併願〕

- ・既修者（一般選抜）・未修者
- ・既修者（特別選抜－5年一貫型）・未修者 ※第2期・第3期のみ
- ・既修者（特別選抜－開放型）・未修者 ※第2期・第3期のみ

〔特別選抜と一般選抜を含む併願〕※第2期・第3期のみ

- ・既修者（特別選抜－5年一貫型）・既修者（一般選抜）
- ・既修者（特別選抜－5年一貫型）・既修者（一般選抜）・未修者
- ・既修者（特別選抜－開放型）・既修者（一般選抜）
- ・既修者（特別選抜－開放型）・既修者（一般選抜）・未修者

<併願者の留意点>

同一日程内における併願は出願時に選択していただきます。追加の出願や出願後の変更はできませんので注意してください。

<合否判定について>

合否判定は、選抜方式ごとに判定します。併願の場合、判定の順位は、①既修者（特別選抜（5年一貫型又は開放型））、②既修者（一般選抜）、③未修とします。優先順位の高い選抜方式で合格となった者については、次の順位の合否判定の対象から除きます。優先順位の高い選抜方式で不合格となった者については、次の順位の合否判定の対象となります。

11 出願書類

提出書類	法学既修者			法学未修者	書式について
	一般選抜	特別選抜 5年一貫型	特別選抜 開放型		
① 入学志願票 注1	○	○	○	○	※1
② 卒業（見込）証明書 注2	○	○	○	○	
③ 出身大学（学部）の成績証明書 注2	○	○	○	○	
④ 法曹基礎課程（法曹コース）の修了（見込）証明書	× 注3	○	○	× 注3	※2
⑤ 履歴書	○	○	○	○	※3
⑥ 志望理由書	○	○	○	○	※3
⑦ 推薦書	×	○	×	×	※3
⑧ 任意提出書類	△	△	△	△	
⑨ 在職証明書	長期履修学生制度を希望する場合のみ ○				
⑩ 出願書類在中封筒貼付用紙	○	○	○	○	※3

○：必須， △：任意， ×：不要

注1：「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」を貼付してください。

※本学法学部在学学生（通信教育部法学部を含む）は免除のため貼付不要です。

注2：②③に加え、大学院修了者（該当者のみ）は、修了証明書及び成績証明書も提出してください。

複数の大学（大学院含む）を卒業（修了）した場合は、すべての大学（大学院含む）の卒業（修了）証明書及び成績証明書を提出してください。

退学・除籍等となった場合は、在籍していた期間がわかる証明書類と成績証明書を提出してください。

注3：法学既修者（一般選抜）及び法学未修者の出願時においては、提出不要です。ただし、課程（コース）を修了した場合は、本研究科入学時に、法曹基礎課程（法曹コース）の修了証明書を提出していただきます。

※1：出願期間中にWeb出願システムに志願情報を入力後、ダウンロード（PDF）してください。

※2：②・③に法曹基礎課程（法曹コース）の修了又は修了見込の記載があれば④の提出は不要です。

所属する大学・学部で証明書が発行できない場合、書式をダウンロードして、発行を依頼してください。（12頁④参照）
本学法学部在学学生は、教務課で発行の申請を行ってください。

※3：出願期間中にWeb出願システムから書式をダウンロード（Word, PDF）して作成してください。

※出願期間に先行して本研究科のホームページからもダウンロードができる期間を設けます。

<夜間開講と入学試験の関係について>

本研究科では、夜間開講を実施しています。夜間開講とは、平日昼間に就業する社会人等の方が法科大学院修了資格を取得することを可能にするために、平日昼間のほかに、平日夜間及び土曜日にも授業を実施するものです。ただし、本人の選択により、平日昼間に開講される科目を受講することも可能です（昼夜開講制）。したがって、夜間受講生のための特別な入学枠を設けるものではありません。入学試験も同一に実施します。

なお、カリキュラム編成の都合上、夜間開講科目の受講を希望される方は、出願時に入学志願票を入力する際に、夜間受講を希望する旨を必ず選択してください。

<長期履修学生制度について>

本研究科では、職業を有している等の事情により、学修時間の確保が困難である方のために、標準修業年限（既修2年・未修3年）を超えて履修することができる長期履修学生制度（既修3年・未修4年）を導入しています。

長期履修学生制度を希望される方は、出願時に入学志願票を入力する際に、長期履修学生制度を希望する旨を必ず選択してください。合格後、別途、本学所定の申請書類等を提出していただきます。

また、長期履修学生は、許可された長期履修期間の短縮（標準修業年限学生への変更）はできません。ただし、法学未修者として入学した者を除きます。

なお、標準修業年限で出願された方は、合格後に長期履修学生制度への変更はできません。

12 出願方法

- ① Web 出願システム上で志願者情報を登録後、お近くのコンビニエンスストアにて入学検定料を納入してください。必ず「大学院法務研究科」を選択し、法学部の学科・他研究科を誤って選択しないよう注意してください。
本学法学部在学学生（通信教育部法学部を含む）は入学検定料が免除となるため、納入は不要です。
- ② 市販のA4角2封筒に出願書類をまとめて封入し、Web 出願システム又はホームページよりダウンロードした「出願書類在中封筒貼付用紙」をはがれないように貼付してください。
- ③ **出願書類は、必ず郵便局で「簡易書留」で郵送してください。本研究科での窓口受付はいかなる場合も行いません。**
- ④ **各期日に定められた出願締切日までに必着するように郵送してください。出願期間を過ぎたものは受理しません。**
- ⑤ 郵便局の郵便窓口営業時間や郵便物のサービスに関する情報は、予め志願者自身で確認してください。
- ⑥ 出願書類を本研究科が受理した時点で出願完了となります。
- ⑦ Web 出願登録又は書類送付のどちらか一方のみでは出願は完了しませんので、注意してください。

< 出願に関する注意点 >

- ① 出願書類の受理について
提出が必須とされている書類に不足等があった場合は、出願書類を受理せず、出願完了とはなりません。
出願締切日を過ぎて到着した出願書類は受理しません。また、郵便局の「簡易書留」以外の方法で提出した場合は、受理しません。
- ② 出願書類の不備について
出願書類に不備があった場合は、受理できませんので、十分注意してください。
また、不備があった場合、入学志願票に記入された電話番号及びメールアドレス等に、確認のため連絡することがあります。
- ③ 出願書類の返還について
一度受理された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 出願後の登録内容の変更について
出願後の登録内容（コース、選抜方式、入試日程）の変更は認めません。
- ⑤ 出願の取消しについて
出願後の取消しはできません。
- ⑥ **第1期の入学試験受験後に、第2期又は第3期の入学試験に出願する場合及び第2期の入学試験受験後に、第3期の入学試験に出願する場合は、別途出願書類の提出と入学検定料の納入が必要になります。**

13 入学検定料

35,000 円（単願）

45,000 円（併願）

- ① **本学法学部在学学生（通信教育部法学部を含む）の入学検定料は免除とします。**
その場合のみ、以下②～⑥の納入・貼付は不要です。
- ② 入学検定料は、23 頁のコンビニエンスストアからの入学検定料納入方法を熟読の上、コンビニエンスストアから納入してください。法学部の学科・他研究科を誤って選択しないよう注意してください。
- ③ 現金自動預払機（ATM）、金融機関、ゆうちょ銀行、為替、インターネットバンキング、テレフォンバンキング等の利用はできません。
- ④ **出願書類は、出願締切日までに郵送必着です。**コンビニエンスストアでの入学検定料の納入については、十分余裕をもって手続をしてください。
- ⑤ 事務手数料（支払手数料）は、志願者の負担となります。
- ⑥ 「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に、はがれないように貼付してください。

< 入学検定料に関する注意点 >

納入した入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

- ① 入学検定料を納入したが、本研究科に出願書類を提出しなかった場合。
- ② 入学検定料を納入し、本研究科に出願書類を提出したが、出願が受理されなかった場合。
- ③ 入学検定料を誤って、所定の金額よりも多く納入した場合。

14 出願から受験票受け取りまでの流れ

志願者（本人）

日本大学法学部大学院事務課

①日本大学大学院法務研究科Web出願システムにアクセス，
試験方式を選択 ※単願と併願の選択に注意

②出願申込（仮登録）
入力画面から氏名，メールアドレス，書類送付先住所・連絡先を入力し送信

出願申込（仮登録）の受付

③メールにて出願登録（本登録）用URLの受信
※送信後24時間以内にメールが届きます
受信が確認できない場合は，迷惑メール等に振り分けられていないか，一度確認してください。

メールにて出願登録（本登録）用URLの通知

④受信した出願登録（本登録）用URLにアクセス
以下（1）（2）（3）の手続を行う

（1）「本登録」画面にて出願に必要な項目の登録・送信
メールにて出願登録（本登録）完了のメールが届きます
※送信後24時間以内にメールが届きます
※受信が確認できない場合は，迷惑メール等に振り分けられていないか，一度確認してください。

出願登録（本登録）の受付

メールにて出願登録（本登録）完了の通知

（2）提出書類の準備
a 志願者本人が作成する書類
・入学志願票，履歴書，志望理由書など
b 成績・卒業（見込）等を証明する書類
・出願資格を証明するものなど
※11・12・13頁を参照し，作成及び準備をしてください

（3）Webにて入学検定料の支払いに必要な番号を取得し，
コンビニエンスストアで納入
本学法学部在学学生（通信教育部法学部を含む）は検定料が
免除となるため納入は不要です
「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」を
切り取り，入学志願票の所定欄に貼る

⑤A4角2封筒に「出願書類在中封筒貼付用紙」（Web出願システムよりダウンロード）をはがれないよう貼付し，④（2）の書類をまとめて封入し，郵便局窓口で【簡易書留】にて日本大学法学部大学院事務課へ送付

書類受理・確認
受験票の発行・送付

⑥受験票の受け取り・保管

15 Web出願システム入力上及び出願書類提出上の注意

入力・記入事項に虚偽の記載、記載漏れがあった場合、合格及び入学を取り消すことがありますので、注意してください。

出願書類	記入欄等	注意事項
① 入学志願票 (Web出願システムで 入力後ダウンロード)	氏名・フリガナ	改姓(名)により提出していただく証明書と姓名が相違している場合、改姓(名)の事実の記載ある戸籍抄本等(出願時点3か月以内発行)の提出が必要です(コピー可)。
	夜間受講	「希望する」「希望しない」のどちらかを選択してください。
	長期履修学生制度	「希望する」「希望しない」のどちらかを選択してください。合格後、新たに長期履修学生制度を申込みことはできません。
	性別	どちらかを選択してください。
	生年月日	年、月、日を選択してください。
	携帯電話	携帯電話等がある場合、確実に連絡が取れる番号を入力してください。
	固定電話(自宅)	固定電話がある場合、確実に連絡が取れる番号を入力してください。
	メールアドレス	仮登録時に入力されたメールアドレスがコピーされます。
	書類送付先住所	・受験票、合格通知書等が確実に届く住所を入力してください。 ・都道府県名から入力してください。 ・「丁目」「番地」「号」の文字は省略し、ハイフン「-」で入力してください。 ・マンション、アパート名がある場合は必ず入力してください。 ・下宿先等の場合は、「〇〇様方」まで入力してください。
	連絡先住所	書類送付先住所と同じ場合は、コピー機能で入力できます。 書類送付先住所と異なる場合 ・「丁目」「番地」「号」の文字は省略し、ハイフン「-」で入力してください。 ・マンション、アパート名がある場合は必ず入力してください。 ・下宿先等の場合は、「〇〇様方」まで入力してください。
	緊急連絡先電話番号等	本人に連絡が取れない時に連絡する場合がありますので、本人以外で連絡可能な緊急連絡先の電話番号・氏名・続柄を入力してください。
	学歴(大学)	・「卒業」又は「卒業見込み」の大学について入力してください。 ・卒業証明書等を確認の上、記載してある「卒業年月」を入力し、「卒業」又は「卒業見込み」を選択してください。 ・卒業証明書等に記載どおりの「大学名」「学部」「学科」を入力してください。「大学名」については、「国立・公立・私立・その他」のいずれかを選択してください。 ・複数の大学を卒業した場合は、最初に卒業した大学を入力してください。 ・法曹基礎課程(法曹コース)の在籍の有無について、プルダウンから選択してください。法学既修者(特別選抜-5年一貫型)又は法学既修者(特別選抜-開放型)を志願し、「01」を選択の上、8頁出願書類④及び12頁④を参照してください。法学既修者(一般選抜)及び法学未修者の選抜においては、可否の判定項目とするものではありませんが、「01」又は「02」を選択し、課程(コース)を修了した場合は、本研究科入学時に、法曹基礎課程(法曹コース)の修了証明書を提出していただきます。 ・退学・除籍等となった場合は、在籍していた期間がわかる証明書類と成績証明書を提出してください。
	出願資格⑦～⑪ ※該当者のみ	6頁の出願資格7-1⑦⑧⑨⑩⑪の方は、「出願資格⑦～⑪」のプルダウンから選択してください。※⑨⑩⑪は、出願前に事前の出願資格審査を実施します。
	学歴(大学院)	・「修了」又は「修了見込み」の大学院について入力してください。 ・修了証明書等を確認の上、記載してある「修了年月」を入力し、「修了」又は「修了見込み」を選択してください。 ・修了証明書等に記載どおりの「大学名」「研究科」「課程」「専攻」を入力してください。「大学名」については、「国立・公立・私立・海外・その他」のいずれかを選択してください。 ・複数の大学院を修了した場合は、最後に修了した大学院を入力してください。 ・法科大学院(本研究科を含む)を修了した場合は、上記大学院よりも優先して入力してください。 ・退学・除籍等となった場合は、在籍していた期間がわかる証明書類と成績証明書を提出してください。

出願書類	記入欄等	注意事項
① 入学志願票 (Web出願システムで 入力後ダウンロード)	研究領域・ゼミナール等 (該当者のみ)	- 卒業論文、修士・博士論文題目等を入力してください。 - 指導教員名・ゼミナール指導教員名をフルネームで入力してください。
	職歴 (該当者のみ)	- 社会人経験がある場合 (給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を目的とする仕事 (自営業、派遣社員、臨時的な業務等を含む) に就いている (就いていた) 場合は、「就業先」「部署名」「役職名」を入力してください。ただし、大学等在学中の方は除きます。また、主婦・主夫等も職歴に含まれます。 「雇用形態」については、「正社員・契約社員・派遣社員・アルバイト」のいずれかを選択してください。 「入社年月」「在職年月」を入力し、「退職」又は「在職中」を選択してください。 - 職歴が多岐にわたる場合は、直近の就業先、部署名、役職名等を入力してください。
	写真貼付欄	- 裏面に氏名を記入し、はがれないように枠内に貼付してください。 - 出願時点 3 か月以内に撮影した正面上半身・脱帽で、背景のない縦 4 cm×横 3 cm の写真 (カラー・白黒いずれも可) に限定します。 - 試験中に眼鏡を使用する人は、眼鏡をかけた状態で撮影してください。
	入学検定料 明細書貼付欄	「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼付してください。 - 本学法学部在学生 (通信教育部法学部を含む) に限り入学検定料を免除します。 上記「収納証明書」の貼付は必要ありません。 - 詳細は 23 頁を参照してください。
② 卒業(見込)証明書 ③ 出身大学(学部)成績 証明書 ※ コピー不可		- 出願時点 3 か月以内の発行日のものとしてください。 - 教養課程・専門課程等、学部課程でわかれている場合は、卒業 (見込) 証明書は最終課程のもののみで構いませんが、成績証明書は全課程のものを提出してください。 - 編入学した場合は、編入学前の学校の卒業・成績証明書を必ず提出してください。 - 大学院修了者 (該当者のみ) は、修了証明書及び成績証明書を提出してください。 - 本学の大学卒業 (大学院修了者) は、必ず本学の卒業 (修了) 証明書を提出してください。 - 複数の大学 (大学院) を卒業 (修了) した場合は、すべての大学 (大学院) の卒業 (修了) 証明書及び成績証明書を提出してください。 - 特別選抜を受験する方は、出願時の当該年次前学期までの成績が反映された成績証明書を提出してください。 1 通の証明書により、卒業 (見込) 及び成績の両方を証明できる場合 (証明書に「成績・卒業〔見込〕証明書」等の明記がある場合) に限り、証明書は 1 通で構いません。
④ 法曹基礎課程(法曹コース)の修了(見込)証明書		- 所属する大学・学部で「法曹基礎課程 (法曹コース)」の修了 (見込) 証明書が発行できない場合、Web出願システム又はホームページより書式をダウンロードし、所属する大学・学部で発行を受け提出してください。 11頁①学歴(大学) 及び16頁二重線の枠内を参照してください。
⑤ 履歴書 (Web出願システムより 書式をダウンロード)	氏名・フリガナ	—
	生年月日	- 年号はいずれかを○で囲んでください。 - 誕生年は西暦で記入してください。
	学歴	- 高等学校の卒業以降のすべての学歴を記入してください。 - 欄が足りない場合は、用紙をコピーして不足分を記入してください。
	職歴	- 給料、賃金、報酬、その他の経常的な収入を目的とする仕事 (自営業、派遣社員、臨時的な業務等を含む) に就いている (就いていた) 場合は、就業先を記入してください。ただし、大学等在学中の方は除きます。また、主婦・主夫等も職歴に含まれます。 - 職歴が多岐にわたる場合は、自己 PR する上で、適していると判断した会社名等を記入してください (直近の職歴は必ず記入)。 - 就業先、部署名、役職名等を記入してください。 - 欄が足りない場合は、用紙をコピーして不足分を記入してください。

出願書類	記入欄等	注意事項
⑥ 志望理由書 (Web出願システムより書式をダウンロード)		・記入については、黒のインクのペン又はボールペンを使用してください。消せるボールペンや時間の経過により字が消えるボールペンは使用しないでください。 ・Web 出願システム又はホームページよりダウンロードし、パソコン等で作成した志望理由書の提出も認めます。
⑦ 推薦書 (Web出願システムより書式をダウンロード) ※ 法学既修者(特別選抜－5年一貫型)志願者のみ		・所定の様式をWeb出願システム又はホームページよりダウンロードし、所属する大学・学部₁の法曹基礎課程(法曹コース)科目授業担当教員又は、ゼミナール担当教員等に作成を依頼してください。 ・教員が作成した推薦書は厳封されていますので、開封せずに、その他の出願書類と併せて提出してください。
⑧ 任意提出書類		・志望理由書の記載内容を裏付ける参考資料として、以下のような資格証明書類の写しを任意に提出することが可能です。<u>提出する場合は、任意の表紙を作成し、氏名と資格等の名称を簡条書きにして、証明書類の写しとともに提出してください。</u>(提出書類例) ・弁理士、税理士、公認会計士、司法書士、土地家屋調査士、社会保険労務士、行政書士、宅地建物取引士等の資格試験合格通知書(写) ・司法試験予備試験短答式試験合格通知書(写) ・法学検定アドバンスト<上級>コース合格証(写) ・知的財産管理技能検定合格証書(写)
⑨ 在職証明書 ※ コピー不可		・長期履修学生制度を希望する場合は、在職証明書を提出してください。 なお、入学する年度の4月以降に就職する場合や、主婦又は主夫等で、在職証明書の発行が困難な場合は、出願前に大学院事務課にお問い合わせください。
⑩ 出願書類在中封筒貼付用紙 (Web出願システムより書式をダウンロード)		・住所、氏名、電話番号、志望コースを記入してください。 ・A4角2封筒に「出願書類在中封筒貼付用紙」(Web出願システムよりダウンロード)をはがれないよう貼付し、8頁記載11の出願書類をまとめて封入し、日本大学法学部大学院事務課へ【簡易書留】で送付。

16 Web出願システムの入力方法

日本大学大学院法務研究科ホームページ（<https://www.law.nihon-u.ac.jp/lawschool/>）のトップページより、「受験生」→「Web 出願システム」の順にアクセスしてください。

試験方式選択画面

Web出願

令和8年度

トップ

出願書類の再ダウンロード

受験者本人の出願状況

入学手続

Q&A

試験方式選択

仮登録

仮登録完了

本登録

本登録完了
(志願票等のダウンロード)

出願完了
(書類郵送・検定料振込)

日本大学大学院法務研究科Web出願システムを利用しての出願となります。

Web出願では、「入学志願票」を手書きではなく、Web出願サイトの入力フォームに必要事項を入力し、「入学志願票」を作成します。作成した「入学志願票」をプリントアウトし、その他の提出書類と併せて郵送してください。

出願にあたっては、必ず入学試験要項を熟読してください。
このまま手続きを進める場合は、必ずプリンターを用意してから志願情報の入力を開始してください。

本登録後は修正ができません。
確認画面にて入力内容を確認した上で、登録ボタンを押してください。
[「入学志願票」出カイメージ](#)



nulaw-admission.jp
cybertrust
secured site
クリックして検証
2025-03-11 10:28 JST

このサイトは、サイバートラストの[サイン\(証明書\)](#)により実在性が認証されています。また、SSLページは通信が暗号化されプライバシーが守られています。

入学検定料について

本研究科入学試験に出願する本学法学部在学学生（通信教育部法学部を含む）に限り入学検定料を免除します。
入学志願票に、「取納証明書」の添付は必要ありません。

試験方式選択

試験名称をクリックし、Web出願（仮登録）画面に進んでください。
選択ミスに注意してください。

第1期

〔単願〕 入学検定料 35,000円

01.第1期既修者(一般選抜)

02.第1期末修者

〔併願〕 入学検定料 45,000円

03.第1期 併願者
既修者（一般選抜）・未修者

第2期

〔単願〕 入学検定料 35,000円

04.第2期既修者(一般選抜)

05.第2期既修者(特別選抜-5年一貫型)

06.第2期既修者(特別選抜-開放型)

07.第2期末修者

〔併願〕 入学検定料 45,000円

08.第2期 併願者
既修者（一般選抜）・未修者

09.第2期 併願者
既修者（特別選抜-5年一貫型）・未修者

10.第2期 併願者
既修者（特別選抜-開放型）・未修者

〔特別選抜と一般選抜を含む併願〕 入学検定料 45,000円

11.第2期 併願者
既修者（特別選抜-5年一貫型）・既修者（一般選抜)

12.第2期 併願者
既修者（特別選抜-5年一貫型）・既修者（一般選抜）・未修者

13.第2期 併願者
既修者（特別選抜-開放型）・既修者（一般選抜)

14.第2期 併願者
既修者（特別選抜-開放型）・既修者（一般選抜）・未修者

仮登録画面

Web出願

トップ ▶ 出願書類の再ダウンロード ▶ 受験者本人の出願状況 ▶ 入学手続 ▶ Q&A

試験方式選択 ▶ 仮登録 ▶ 仮登録完了 ▶ 本登録 ▶ 本登録完了 (出願書類のダウンロード) ▶ 出願完了 (登録料納付・検定料納付)

○ 仮登録・情報入力

登録したメールアドレスに出願登録（本登録）用のURLを送信します。

▶ 第1期既修者（一般選抜）

試験方式	第1期既修者（一般選抜）
氏名（漢字）※必須	氏 名 例：日大 ※全角入力
氏名（カナ）※必須	氏 名 例：ニチダイ ※全角カタカナ入力
URL送信用メールアドレス	URL送信用メールアドレス（仮登録後、本登録用URLをお送りします。） ※半角入力
メールアドレス確認	 ※確認のためもう一度入力してください
郵便番号	- 郵便番号から住所を検索 ※半角入力
郵便所	 ※半角入力
市区町村	 ※半角入力
丁目・番地	 ※全角入力 例：2-3-1 注意：「丁目」「番地」「号」の文字は省略し、ハイフン「-（全角）」で入力してください。「-（全角）」と間違えないよう注意してください。
建物名・部屋番号	 ※全角入力 例：千代田ハイタワー 405号室
郵便番号カナ	 ※全角入力 例：トウキョウト
市区町村カナ	 ※全角入力 例：チヨウクワンザミナシキョウ
建物名・郵便番号カナ	 ※全角入力 例：チヨウダイタツ 405ゴウシツ
連絡先TEL	固定電話 - - 携帯電話 - - ※半角入力

▶ 個人情報の取扱いについて

※下記取扱いについての詳細を熟読して頂き、同意を得られる場合は同意確認にチェックを入れてください。

日本大学では、出願登録にご記入いただきました志願者の氏名・住所等の個人情報は、入学試験の出願受付・実施・合格発表、さらには入学に基き一連の学統と、日本大学で学生生活を始めるにあたって必要となる各種・お知らせ等の送付及び入学準備データの提供処理のために使用しています。
なお、日本大学がこれらの関係の一部を第三者に委託する場合があります。この場合、日本大学及び当該業務の委託を受けた第三者は、上記利用目的の達成に必要な範囲を超えて志願者の個人情報を利用することはありません。

● 同意確認 ☐ 同意します

◀ もどる ▶ 送信

仮登録

氏名（漢字）・（カナ）・本登録用URL送信用メールアドレス
書類送付先住所・連絡先TELの登録を行います。

郵便番号から住所を検索できます。

「丁目」・「番地」・「号」の文字は省略し、ハイフン「-（全角）」で入力してください。「-（全角）」と間違えないよう注意してください。

注意：仮登録した連絡先TELの情報を、本登録で変更することはできません。

入力後、送信ボタンを押す。（仮登録完了画面へ）

仮登録完了画面

Web出願

トップ ▶ 出願書類の再ダウンロード ▶ 受験者本人の出願状況 ▶ 入学手続 ▶ Q&A

試験方式選択 ▶ 仮登録 ▶ 仮登録完了 ▶ 本登録 ▶ 本登録完了 (出願書類のダウンロード) ▶ 出願完了 (登録料納付・検定料納付)

○ 仮登録完了

✓ 仮登録が完了しました

登録したメールアドレスに出願登録（本登録）用URLを記載したメールをお送りいたしました。
「仮登録」完了から72時間以内に「本登録」を完了させてください。

▶ トップページへ

☑ 先頭へ移動する

仮登録が完了し、志願者のメールアドレスに、出願登録（本登録）用URLが送信されます。
メールが届かない場合には、迷惑メールフォルダなどに振り分けられていることがあります。

メール 出願登録（本登録）用URLの受信

送付先 service@nulaw-admission.jp

件名 【日本大学法学部 大学院事務課（入試係）】出願登録（本登録）用URLをお送りします

【日本大学法学部 大学院事務課（入試係）】

日大 太郎様

出願申込が完了しました。（08月19日 09:27:21）
引き続き、下記URLをクリックし、出願登録を行ってください。
このまま手続きを進める場合は、必ずプリンターを用意してから志願情報の入力を開始してください。

出願登録（本登録）用URL
<https://nulaw-admission.jp/lawschool/Registration?pl=61Tch0WbsF2053d>

この出願登録用URLは、「仮登録」完了から72時間有効です。
※72時間を経過すると、この出願登録用URLは無効となります。
※無効となった場合には、お手数ですが、「出願申込」からやり直してください。
新たに「出願登録」用URLをお送りいたします。
【出願申込のやり直しはこちらから】
<https://nulaw-admission.jp/lawschool/>

※72時間以内であっても、web出願登録期間を過ぎた場合、出願登録用URLは無効となります。
この場合、「出願申込」からのやり直しはできません（出願はできません）。

※このメールは送信専用メールアドレスから配信されています。
※返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

送信者
service@nulaw-admission.jp
件名
【日本大学法学部 大学院事務課（入試係）】出願登録（本登録）用URLをお送りします

クリックすると、「本登録」画面へ「本登録」は「仮登録」完了から72時間以内に行ってください。
72時間を経過するとURLは無効となります。
無効となった場合は、「仮登録」からやり直してください。

▶ 志願者情報

本登録画面では、
志願者情報を入力します。

グレーの網掛けは、仮登録した情報で、本登録で変更することはできません。

「書類送付先住所からコピー」を押すと、住所がコピーされます。

- 01 在籍している
- 02 在籍し、課程（コース）
を修了した
- 03 在籍していたが、課程
（コース）を修了しなかった
- 04 在籍していない

法学既修者（特別選抜－５年一貫型）又は法学既修者（特別選抜－開放型）の志願者は、
01 を選択の上、出願時に、法曹基礎課程（法曹コース）の修了見込証明書を出願書類に同封して提出してください。

※ 法学既修者（一般選抜）及び法学未修者の選抜においては、可否の判定項目とするものではありません。ただし、課程（コース）を修了した場合は、本研究所入学時に、法曹基礎課程（法曹コース）の修了証明書を提出していただきます。

社会人経験がある場合は「職歴」も入力してください。
履歴書の直近の「就業先」・「部署名」・「役職名」在職年月及び在職状況と一致するようにしてください。

全ての項目を入力したら、「確認画面」へ進んでください。

▶ 情報入力確認画面

▶ 緊急連絡先(本人以外)	
氏名(漢字)	長久 次郎
氏名(カナ)	ニチダイ シロウ
関係	父
連絡先TEL	携帯電話 03-111-2222 携帯電話
▶ 学歴	
大学	平成18年3月 卒業 分科 理工 大学名 ○○大学 学部 ○○学部 学科 ○○学科 卒業論文題目(英語コースの場合は英語) 01 投稿している
大学院修士コース	文部科学大臣の指定した業
大学院	平成22年3月 修了 分科 理工 大学名 ○○大学 研究科 ○○研究科 専門 機電情報 専攻 ○○専攻
▶ 研究領域	
卒業論文、修士・博士論文題目	○○○○
ゼミナール、指導教員名	○○先生
▶ 所属	
所属	研究科 機電情報 研究室 ○○○○ 所属部署 機械 所属学系 理工学 入社 平成22年4月 退社・退職日 令和2年3月 退職中

◀ もどる
▶ 登録

本登録完了画面

本登録完了
このボタンをクリックすると、出願書類をプリントアウトできます。

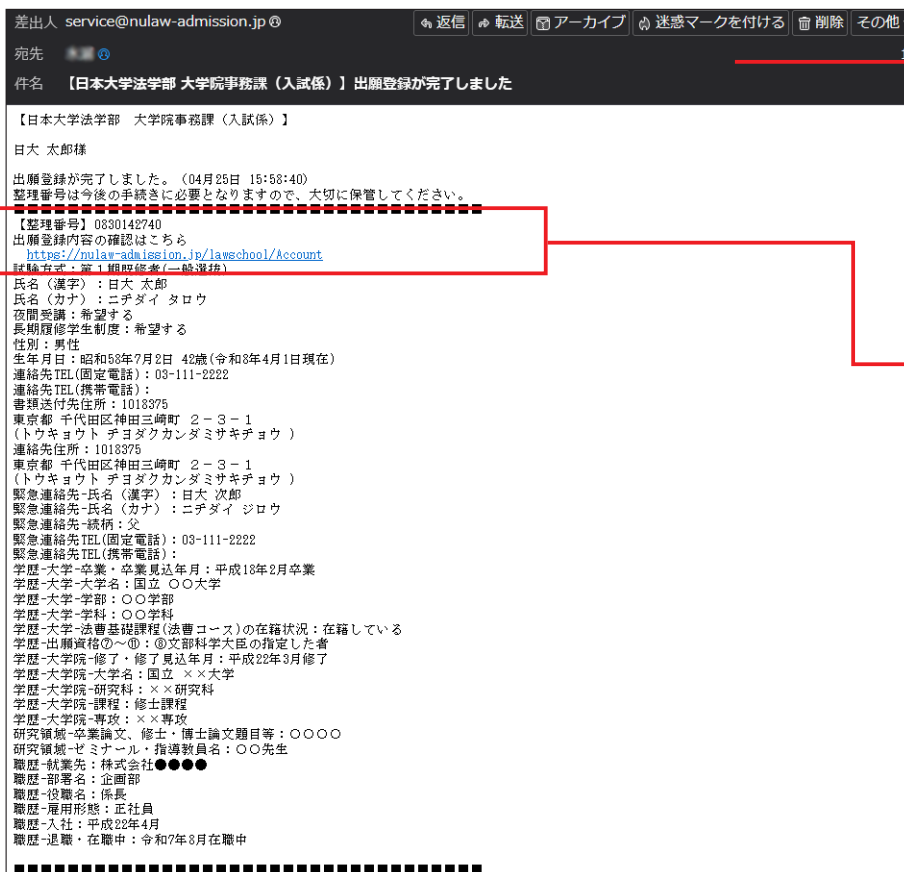
[illegible]

整理番号は、出願登録（本登録）完了通知（メール）にも記載されます。

出願書類のダウンロードが完了したら、「検定料のお支払いはこちら」をクリックし、「検定料のお支払い事前申込み」へ進んでください。
※検定料の支払い方法の詳細は23頁参照。

「**出願書類ダウンロード**」・「**検定料のお支払い事前申込み**」が完了したら、トップページへ戻るか、ブラウザの×ボタンなどで画面を閉じてください。

メール 出願登録（本登録）完了通知



送信者

service@nulaw-admission.jp

件名

【日本大学法学部 大学院事務課（入試係）】出願登録が完了しました

整理番号が通知されます。

左記の URL から出願登録内容が確認できます。

本登録完了後、整理番号とメールアドレスを入力すると、①本人の出願状況・②出願書類の再ダウンロードができます。

①受験者本人の出願状況



整理番号とメールアドレスを入力すると確認できます。



17 頁の「本登録完了画面」で「検定料のお支払いはこちら」をクリックし忘れた場合、こちらから「検定料のお支払い事前申込み」に進むことができます。
※他大学及び他学部、他学科、他研究科も表示されますので、選択時に注意してください。
※検定料の支払い方法の詳細は 23 頁参照。

②出願書類の再ダウンロード

整理番号とメールアドレスを入力すると
確認できます。

Web出願

トップ 出願書類の再ダウンロード 受験者本人の出願状況 入学者手続 Q&A

試験方式選択 仮登録 仮登録完了 本登録 本登録完了 (本登録完了からダウンロード)

出願完了 (出願完了から入学手続)

○ 出願書類の再ダウンロード

▶ 第1期試験者(一般受験)

！ 入学決定料について

① 認って他学種、他研究科の決定料支払い画面から手続きを行わないよう注意してください。

② 本研究科入学試験に出願する本学法学部在学（高校生教育課程法学部を含む）に限り入学決定料を免除します。

入学手続票に、「取附証明書」の添付は必要ありません。

お申込に際しては、「入学試験票返送」を大切に、手紙を返してください。

試験日	令和7年7月1日(火)
Web出願登録期間	令和7年7月1日(火)～令和7年7月1日(日)
出願Web	出願者情報登録期間 令和7年7月1日(火)～令和7年7月1日(日) ※郵送必須
出願資格	Web出願 ダウンロード

▶ 志願者情報

氏名（漢字）	日大 太郎
氏名（カタ）	ニチダイ タロウ
希望学部	希望する
最終希望学系制度	希望する
性別	男
生年月日	昭和55年7月2日
連絡先TEL	固定電話 03-111-2222 携帯電話
メールアドレス	test@medic-system.jp

クリックすると出願書類をダウンロードできます。

クリックすると出願書類を
ダウンロードできます。

▶ 書類送付先住所 (志願～合格発表)	
書類送付先住所 (志願～合格発表)	郵便番号 1018375 都道府県 東京都 市区町村 千代田区海町三丁目 丁目・番地 2-3-1 建物名・部屋番号 トウキョウト 市区町村カナ 千代田区千代田ミサキビル 建物名 建館名 部屋番号カナ
▶ 連絡先住所	
連絡先住所	郵便番号 1018375 都道府県 東京都 市区町村 千代田区海町三丁目 丁目・番地 2-3-1 建物名・部屋番号 トウキョウト 市区町村カナ 千代田区千代田ミサキビル 建物名 建館名 部屋番号カナ
▶ 緊急連絡先(本人以外)	
氏名 (漢字)	田代 次郎
氏名 (カナ)	ニダタイ ジロウ
続柄	父
連絡先TEL	固定電話 03-111-2222 携帯電話
▶ 学歴	
大学	平成10年2月 卒業 分類 大学 大卒 学部 ○○学部 学科 ○○学科 卒業修得学位(授与) スクワリ学位 01 取得している
出願資格について	○文部科学省の指定した者
大学校	平成22年3月 終了 分類 大学 大卒 短大 課程 ○○大学 専攻 ○○専攻 修了課程 ○○課程 専攻 ○○専攻
▶ 研究領域	
卒業論文、修士・博士論文題目等	○○○○
ゼミナール・指導教員名	○○先生
▶ 所属	
所属	所属元 株式会社●●●● 所属名 企業部 所属地 群馬 所属期間 2014年4月 入社 平成22年4月 退社 平成27年3月 所属先

◀ もどる

17 個人情報の取扱いについて

学校法人日本大学（以下「本大学」といいます）は、「個人情報の保護に関する法律」その他関係法令に従い、「日本大学個人情報取扱規程」を制定し、本大学における個人情報の取扱いに関するガイドラインを定めることにより、個人情報の保護を図るとともに、本大学の教育、研究、保育、診療等の円滑な管理運営を行うものとします。詳しくは、本学ホームページ（<https://www.nihon-u.ac.jp/privacypolicy/>）でご確認ください。

18 受験票

受験票は、入学志願票に記載の書類送付先住所宛てに、速達郵便で送付します。併願の場合は、入試区分別の受験票をまとめて同封します。試験日の2日前までに受験票が到着しない場合は、大学院事務課（TEL.03-6261-3210）にお問い合わせください。出願後に住所を変更した場合は、郵便局で転居先への転送手続を行ってください。受験票は、試験当日必ず持参してください。面接の際も必ず携帯してください。

また、受験票が無い場合、試験場に入場できません。紛失したり、持参することを忘れた場合は、試験当日、係員（事故係等）に申し出てください。

19 試験当日の注意

① 受験上の注意

(1) 試験場

日本大学法学部校舎で実施します。受験票に記載されている受験番号と、受験票と一緒に送付する「受験生案内」で、試験場校舎の場所、道順、交通手段等を事前に確認しておいてください。下見の際には校舎内への立入りはできません。試験教室は試験当日お知らせします。

また、試験場構内への自動車・バイク等での乗り入れは禁止しています。公共の交通機関を利用してください。

(2) 集合時間

「受験生案内」で確認してください。所定の時間までに、指定された試験教室に入場し、着席してください。試験当日は交通機関の混雑等を考慮して、早めに到着するよう心がけてください。

(3) 遅刻・その他の事故

遅刻した場合、試験開始後 20 分以内は入場を認めますが、それ以降は認めません。

交通機関等の遅れにより遅刻する可能性がある場合、「受験生案内」に記載されている電話番号に連絡し、指示を受けてください。

② 持参するもの

(1) 受験票

試験当日は必ず持参し、試験場校舎に入校の際に提示してください。受験票が無い場合、試験場に入場できません。紛失又は持参することを忘れた場合は、試験当日、係員（事故係等）に申し出てください。

(2) 筆記用具

解答については、黒のインクのペン又はボールペンを使用してください。

消せるボールペンや時間の経過により字が消えるボールペンは使用しないでください。問題検討のための鉛筆（色鉛筆を含む）、シャープペンシル・蛍光ペン（ラインマーカー）の使用は、問題用紙に限り認めます。

(3) 時計

試験場に時計はありませんので、時計機能だけのものを持参してください。

携帯電話、ウェアラブル端末等を時計として使用することはできません。キッチンタイマーや、電卓、ストップウォッチ、及びそれらの機能のあるものは不可とします。

(4) 昼食・飲物

試験終了まで試験場外には出られませんので、必ず昼食・飲物を持参してください。試験場内に食堂はありません。

③ 感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校において予防すべき感染症（学校保健安全法施行規則の規定によるインフルエンザ、百日咳、麻疹、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、新型コロナウイルス感染症等）にかかり、治癒による出席停止の期間が経過していない受験生は、他の受験生等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。

④ その他の注意

(1) 携帯電話（スマートフォン等）、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、計算機、電子辞書、通信機器、コンピュータ等、定規、コンパスの使用は、その使用目的を問わず認めません。これらの機器類は必ず電源を切り、鞆にしまってください。

(2) 法学既修者の論文式試験では、本研究科で用意した六法を貸与します。

(3) 試験当日、受験生以外は試験場に入ることができません。付添者の控室はありません。

20 合格発表

① 合格発表方法

ホームページによる合格発表と同時に、合格者には「合格通知書」及び「入学手続書類」を入学志願票に記載の書類送付先住所宛てに速達郵便で発送します。

なお、ホームページによる合格発表は補助的な手段です。見間違い等を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めませんので、注意してください。

また、合格発表開始直後はアクセスが集中する場合がありますので、合格発表ページに接続しにくい時は、少し時間をおいてから、アクセスしてください。

ホームページ <https://www.law.nihon-u.ac.jp/lawschool/>

② 合格発表日時

- (1) 第1期 令和7年 9月12日(金) 15:00
- (2) 第2期 令和7年 11月 7日(金) 15:00
- (3) 第3期 令和7年 12月12日(金) 15:00

③ その他

電話等による可否の問い合わせや試験結果に関する問い合わせは、一切受け付けません。

21 入学手続

① 手続方法

合格者は本研究科から合格通知書とともに送付される「入学手続要項」を十分に確認の上、指定された期限までに、入学手続時の納入金を納め、入学手続書類を作成・送付して、入学手続を完了してください。

入学手続は、指定された期限までに完了することが原則ですが、第1期及び第2期合格者に限り、入学申込金（入学金相当額）を納めて、入学手続期間の延長（21頁21-⑤参照）を申し出ることができます。

② 注意事項

出願資格を「見込み」で受験し、本研究科への入学手続を完了（入学時納入金を全額納入）した後に、入学時までに本研究科入学資格を得られなかった場合、入学許可は取り消しとなります。その際、入学時納入金から入学金を除いた金額（諸会費を含む）を返還します。

③ 入学手続期間

- (1) 第1期 令和7年 9月13日(土)～ 9月26日(金)
- (2) 第2期 令和7年 11月 8日(土)～ 11月21日(金)
- (3) 第3期 令和7年 12月13日(土)～令和8年1月8日(木)

④ 令和8年度入学者初年度納入金

	入学手続時	後学期（9月）	合 計
入 学 金 ^{※1}	250,000 円	—	250,000 円
授 業 料	490,000 円	490,000 円	980,000 円
施設設備資金	50,000 円	50,000 円	100,000 円
合 計	790,000 円 ^{※2}	540,000 円	1,330,000 円

※1 本学出身者は、入学金が原則として免除されます。

ただし、他大学出身者で本研究科を修了した者は除きます。

※2 上記以外に日本大学校友会準会員費（毎年1万円納入）があります。また、修了年度に正会員会費（初年度分1万円納入）があります。

長期履修学生制度の利用を申込む方は、納入金額が異なります。詳しくは、大学院事務課までお問い合わせください。

⑤ 入学手続の二段階方式について〈第1期・第2期合格者のみ〉

(1) 入学申込みの手続（第一回）

入学手続期間の延長希望者は、指定された期限までに本学所定の振込用紙を用いて上表の入学申込金（入学金相当額：250,000円）を銀行等から振り込み、入学申込書を大学院事務課宛てに郵送してください。

なお、この手続方法における入学申込金は、合格者が大学に『入学し得る地位を取得するための対価』としての性格を有する金員であると位置付けられています。すなわち入学申込金を納入することは、入学手続期間の延長に際し、本研究科に入学し得る地位を取得するということになりますので、本研究科への入学を辞退される場合にあっては、いったん納入された入学申込金及び入学手続書類は返還いたしません。

(2) 入学手続の完了（第二回）

入学申込みの手続（第一回）をした場合は、令和8年1月8日（木）までに、入学申込金以外の納入金を納め、所定の入学手続書類を作成・送付して、入学手続を完了してください。

⑥ 既納の納入金返還手続

入学手続完了後（入学手続時納入金を全額納入した後）に、やむをえない事由によって本研究科への入学を辞退する場合は、電話により令和8年3月31日（火）17時（時間厳守）までに大学院事務課へ申し出てください。

申し出を受理しますと、「入学辞退願」を大学院事務課より送付いたしますので、必要事項を記入の上、既送の「入学許可書」と併せて速やかに返送してください。

手続終了後、入学金を除く入学手続時納入金（諸会費等を含む）は返還いたします。ただし、いったん提出された入学手続書類及び納入された入学金は返還いたしません。

なお、令和8年4月1日（水）以降に申し出があった場合は、本研究科に学籍が生じていますので、入学手続書類及び入学金を含む入学手続時納入金は返還いたしません。

《注意》

(1) 入学辞退の申し出受理に際しては、直接本人の意思を確認させていただきます。

(2) 入学辞退の申し出を、本研究科が受理した後の辞退の取り消しは、認めません。

(3) 「入学辞退願」が提出されない場合、入学金を除く入学手続時納入金の返還手続ができませんので、必ず提出してください。

22 法学既修者の既修得単位認定について

① 法学既修者（一般選抜）

法学既修者（本研究科の法学既修者（一般選抜）の入学試験に合格した者）は、法律基本科目の1年次配当科目の一部が既修得単位として認定されます。その認定対象科目は、「憲法基礎演習」「憲法Ⅰ」「憲法Ⅱ」「民法基礎演習」「民法Ⅰ」「民法Ⅱ」「民法Ⅲ」「民法Ⅳ」「民法Ⅴ」「刑法基礎演習」「刑法Ⅰ」「刑法Ⅱ」の12科目22単位です。

本研究科において、法律基本科目の1年次配当科目のうち、入学試験を課さなかった科目（「会社法」「民事訴訟法」「刑事訴訟法」）については、別途単位認定試験を実施し、合格した科目を既修得単位として認定します。

なお、同認定試験において不合格又は未受験の場合は、法科大学院入学後に該当科目を履修するものとします。

② 法学既修者（特別選抜－5年一貫型）

法学既修者（本研究科の法学既修者（特別選抜－5年一貫型）の入学試験に合格した者）は、法律基本科目の1年次配当科目及び「行政法」が既修得単位として認定されます。その認定対象科目は、「憲法基礎演習」「憲法Ⅰ」「憲法Ⅱ」「行政法」「民法基礎演習」「民法Ⅰ」「民法Ⅱ」「民法Ⅲ」「民法Ⅳ」「民法Ⅴ」「会社法」「民事訴訟法」「刑法基礎演習」「刑法Ⅰ」「刑法Ⅱ」「刑事訴訟法」の16科目30単位です。

③ 法学既修者（特別選抜－開放型）

法学既修者（本研究科の法学既修者（特別選抜－開放型）の入学試験に合格した者）は、法律基本科目の1年次配当科目の一部が既修得単位として認定されます。その認定対象科目は、「憲法基礎演習」「憲法Ⅰ」「憲法Ⅱ」「民法基礎演習」「民法Ⅰ」「民法Ⅱ」「民法Ⅲ」「民法Ⅳ」「民法Ⅴ」「刑法基礎演習」「刑法Ⅰ」「刑法Ⅱ」の12科目22単位です。

「行政法」「会社法」「民事訴訟法」「刑事訴訟法」については、本研究科法律基本科目と対応関係のある学部科目の成績で判断するものとし、本研究科の科目に対応する学部科目の成績が全てB評価（100点満点中70点以上）以上の科目は認定します。なお、「会社法」「民事訴訟法」「刑事訴訟法」について同じくC評価（100点満点中70点未満）以下のものがある場合は、入学前に実施予定の既修者認定試験において当該科目を受験し合格すれば、当該科目の単位を認定しますが、不合格又は未受験の場合は、法科大学院入学後に該当科目を履修するものとします。また、「行政法」については、同認定試験が実施されないため、対応する学部科目の成績にC評価以下のものがある場合は、法科大学院入学後に該当科目を履修するものとします。

23 Web 出願システムに関する Q&A

Q. Web 出願とは？

- ・日本大学大学院法務研究科 Web 出願システムを利用した出願となります。
Web 出願とは、「入学志願票」を手書きではなく、Web 出願サイトの入力フォームに必要事項を入力してプリントアウトし、その他の提供書類と併せて郵送することにより出願できるシステムです。大学での入力の代行は、いかなる場合も行いません。

Q. Web 出願登録後に登録内容を変更することはできますか？

- ・登録後の変更はできません。（やむを得ない事情で変更が必要な場合は大学院事務課にお問い合わせください。）

Q. メールアドレスを持っていません。

- ・フリーメールアドレスを取得してご利用ください。フリーメールアドレスが取得できるサイトの例：グーグル、ヤフー、Outlook など
※フリーメールはご自身の責任の範囲内でご利用ください。
※フリーメールアドレス提供会社によっては受信したメールが迷惑メールに振り分けられることがありますのでご注意ください。

Q. 出願登録（本登録）用 URL が、指定したメールアドレスに届きません。

- ・迷惑メールに振り分けられていることがありますので、迷惑メールのフォルダを確認してください。
・勤務先等のメールアドレスを指定する場合、セキュリティの関係上、メールサーバーで止められてしまうことがあります。
フリーメールアドレスを取得してご利用ください。

Q. プリンタがありません。

- ・出願に必要な書類は印刷をする必要があります。
プリンタをお持ちでない場合は、コンビニエンスストアやネットカフェなどで出力する方法があります。
店舗によってはプリントサービスを行っていない場合がありますので、詳しくは各店舗にお問い合わせください。大学では、いかなる場合も印刷は行いません。

Q. A4 用紙より小さく印刷されます。

- ・A4 用紙に適切に印刷する必要があります。印刷の設定を変更してください。

Q. 出願登録がうまくできません。

- ・出願申込（仮登録）から 72 時間が経過していませんか？
出願申込（仮登録）を行ってから 72 時間が経過しますと、その出願申込（仮登録）は無効になります。再度出願申込（仮登録）からやり直してください。
- ・JavaScript が有効ですか？
Web 出願登録では、JavaScript を使用します。ブラウザの設定で有効にしてください。
例：Google Chrome の場合
「設定（画面右上）」→「プライバシーとセキュリティ」タブ→「閲覧履歴データの削除」→「データを削除」ボタンを押してください。
- ・Cookie（クッキー）の設定が有効ですか？
Web 出願登録では、一部に Cookie を使用しています。ブラウザの設定で Cookie を有効にしてください。
- ・出願登録画面を複数枚開いていませんか？
複数の登録画面を開いて入力を行うとエラーになる可能性があります。一度 Web ブラウザを閉じて入力をやり直してください。

Q. 入力画面で前の画面に戻りたい。

- ・画面内にある「戻る」ボタンを利用することで前画面に戻ることができます。
Web ブラウザの「戻る」ボタンは使用しないでください。
※戻る画面によっては、入力した内容が全て削除される場合があります。また、戻るボタンがない画面もあります。

Q. 出願登録の途中で入力を中断し、後で続きを入力したい。

- ・途中で入力を中断した場合には、後で続きを入力することはできません。
お手数ですが、最初からやり直してください。

Q. 出願情報入力後、「確認」ボタンや「出願登録」ボタンをクリックしても画面が進まない。

- ・ご使用されているパソコンの環境等により、解消方法が異なる場合があります。
メモリ不足：ブラウザ以外のアプリケーションを終了させる。常駐ソフトを一時的に停止させる。
ネットワーク関連：ネットワークに接続されているか確認する。
※常駐ソフトにはセキュリティソフトも含まれています。停止する際は自己責任でお願いします。

Q. 「警告：ページの有効期限切れ」等の画面が表示される。

- ・セキュリティ保護上の仕様です。ブラウザの戻るボタンをクリックした際に表示される場合があります。
また、インターネット一時ファイルの容量が多くなった場合にも表示される場合があります。インターネット一時ファイルを削除してください。
例：Google Chrome の場合
「設定（画面右上）」→「プライバシーとセキュリティ」タブ→「閲覧履歴データの削除」→「データを削除」ボタンを押してください。

Q. 「セッションエラー」と表示される。

- ・以下の要因が考えられます。
ブラウザの設定で Cookie が有効になっていない可能性があります。設定を確認してください。
操作が行われない時間が長い場合セッションが切断された可能性があります。操作をやり直してください。
URL を直接入力する等、正常なアクセス経路でない可能性があります。途中保存したブックマーク等を使用しないでください。

コンビニエンスストアからの入学検定料納入方法

入学検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」で24時間いつでも払い込みが可能です。

1 Webで事前申込み

※本研究科入学試験に出願する本学法学部在学学生（通信教育部法学部を含む）に限り入学検定料を免除します。



画面の指示に従って大学院法務研究科を選択の上、必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得してください。

<https://e-shiharai.net/>

携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

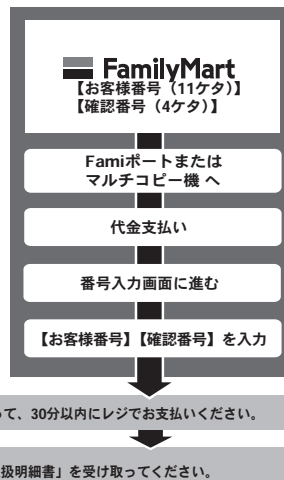
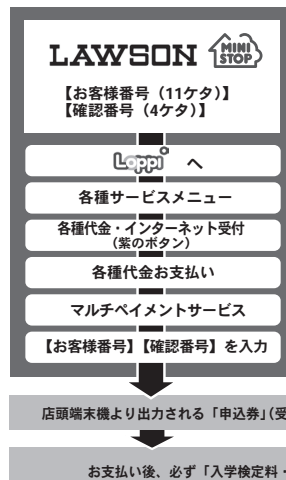
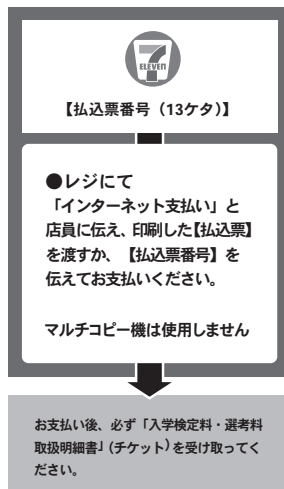
※番号取得後に入カミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

日本大学法学部HPからもアクセスできます！



2 コンビニでお支払い

●入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。（全コンビニ共通）詳しくは、Webサイトをご確認ください。



※入学検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。 ※店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

3 出 願

「入学検定料・選考料取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼る。

●セブン-イレブン ●ファミリーマート
「入学検定料・選考料取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「チケット等払込領収書」は保管。



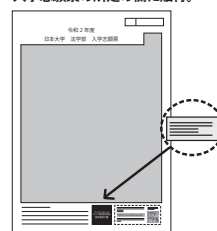
●ローソン ●ミニストップ
「入学検定料・選考料取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「取扱明細書兼領収書」は保管。



入学志願票に貼付する「収納証明書」部分

※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている欄はご使用にならないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

切り取った「収納証明書」を入学志願票の所定の欄に貼付。



※コンビニでお支払いされた場合、「金融機関収納印」は不要です。

封筒に出願書類を入れて郵便局から「簡易書留」で郵送してください。



- 出願期間を入学試験要項でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の場合は23:30までです。
- 一度お支払いされた入学検定料は、コンビニでは返金できません。
- 取扱いコンビニ、支払い方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

「入学検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトでご確認ください。

<https://e-shiharai.net/>

●お問い合わせ先

日本大学法学部大学院事務課

E-mail houka@nihon-u.ac.jp

〒101-8375 東京都千代田区神田三崎町 2-3-1

URL <https://www.law.nihon-u.ac.jp/lawschool/>

TEL 03-6261-3210